

土木積算システム SUPER ESCON Plus Ver. 2022.0

「2022年度版へのアップデートについて」

株式会社 総合システム

令和4年7月

目 次

1. アップデートの内容

I 国土交通省+基本システムのアップデート……………P.1

II 単価データベースのアップデート……………P.1

2. 積算基準・標準歩掛の改正事項について

I 国土交通省土木工事積算基準（黄本）の改訂内容について ……P.4

3. 入力についてのご注意

I 率対象外コードについて ………………P.5

1. アップデートの内容

I. 国土交通省+基本システムのアップデート

本処理は土木積算システム SUPER ESCON Plus 基本プログラム（以下、ESCON Plus と称す）2022 年度版のインストールが行われます。

アップデート作業の内容は、プログラムを 2022 年度仕様に改訂致します。

II. 単価データベースのアップデート

本処理は、ESCON Plus の 2021 年度版のデータベースを 2022 年度版へ修正するものです。

アップデート作業の内容は、基本単価、施工単価データベースを 2022 年度仕様に改訂致します。

データの改訂につきましては以下の基準を参考として改訂を行っております。

『国土交通省 土木工事積算基準 2022 年度版』（一般財団法人 建設物価調査会発行）

『建設機械等損料算定表 令和 4 年度版』（一般社団法人 日本建設機械施工協会発行）

『2022 年 4 月施工パッケージ型積算方式表標準単価表』（国土交通省ホームページ）

※ 複数のデータベースを切り替えてご利用のお客様へ

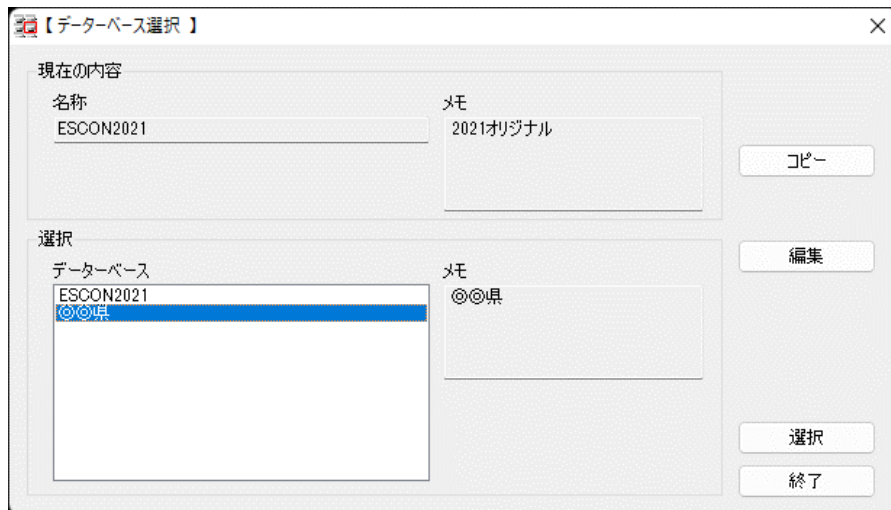
複数のデータベースを切り替えてご利用中の場合、現在選択されている以外のデータベースのアップデートについては、別途「複数データベース切り替えアップデート」をご覧になっていただき、作業を行って下さい。

データベース切り替えアップデート手順について

本章は単一のデータベースを切り替えてご利用の場合のアップデートについて解説しております。
複数のデータベースをご利用いただいている場合は1)～2項をご参照ください。

1) データベースアップデートの前準備

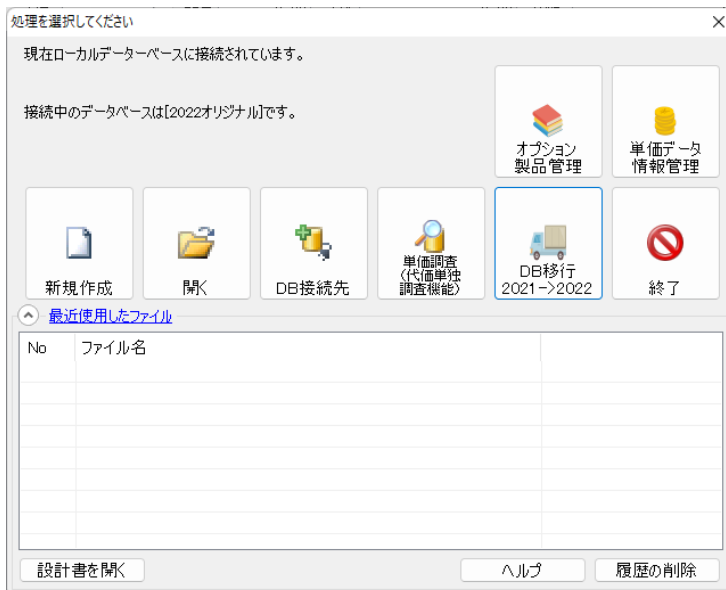
旧年度の SUPER ESCON Plus のデータベース選択を使用して、年度改訂のアップデートを行うデータベースへ切替えます。(現在選択中のデータベースは既に新年度版へ変換されています。)



2) SUPER ESCON Plus 2022 の起動

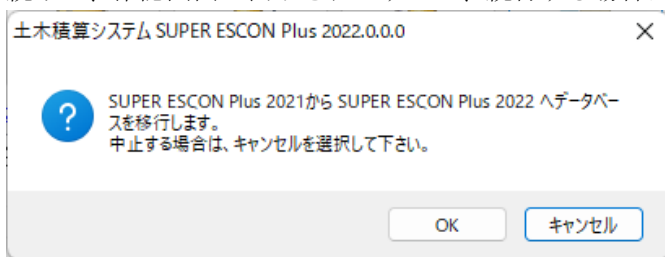
SUPER ESCON Plus 2022 を起動してください。

下の画面が表示されましたら、【DB移行 2021->2022】をクリックします。

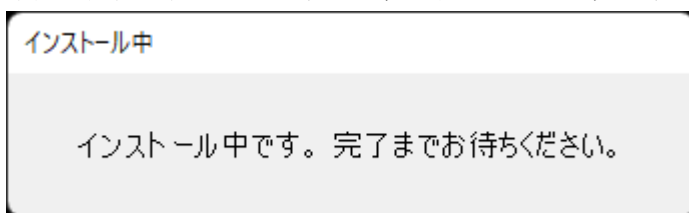


(※上記画面の内容は購入時期により異なります。)

続けて、確認画面が表示されますので、続行する場合は【OK】を選択します。



下図の画面が表示されますので、アップデートが完了するまでお待ちください。



アップデートが完了しますと、SUPER ESCON Plus が起動します。

1)ー2 複数データベース切り替えアップデート

本項は複数のデータベースを切り替えてご利用の場合のアップデートについて解説しております。

※参照いただく画面は上記1)～2)項の画面と同様です

例：大阪地区及び東京地区の単価データベースをお持ちで、それらを切り替えて順次アップデートを行う場合

1：データベース選択(2021)内にある、大阪地区の単価データベース【2204(大阪単価)ESCON2021】を選択し、ESCON Plus2022 を起動の上、【DB 移行 2021->2022】をクリック→大阪地区データベース移行完了。

2：再度データベース選択(2021)内にある、東京地区の単価データベース【2204(東京単価)ESCON2021】を選択し、ESCON Plus2022 を起動の上、【DB 移行 2021->2022】をクリック→東京地区データベース移行完了。

2. 積算基準・標準歩掛の改正事項について

I. 国土交通省土木工事積算基準(黄本)の改訂内容について

2022年度に、国土交通省の積算基準が一部改訂されましたので、「土木積算システム SUPER ESCON Plus」の内容も改正基準に合わせて改訂いたしました。2022年度国土交通省土木工事積算基準の改訂に伴う改訂内容は次のとおりです。

- ① 改正工種（6工種）
 - ・①重建設機械分解・組立、②中層混合処理工、③消波工（ブロック制作・据付）
 - ・④コンクリート工（砂防）、⑤道路打換工、⑥トンネル裏込注入工
- ② 新規工種（3工種）
 - ・①ワイヤロープ設置工
 - ・②プレファブリケイティッドバーチカルドレーン工（PVD工）、
 - ・③横断歩道橋補修工
- ③ 間接工事費に関する改定
 - ・一般管理費等率の改定
- ④ 鋼橋積算基準の改定
 - ・間接工事費、材料費率の改定
 - ・桁輸送費の改定
- ⑤ 建設機械損料
 - ・全面改訂
- ⑥ 施工パッケージ型積算方式
 - ・施工パッケージ型積算の代表機労材単価(2021年4月基準単価)が追加。
 - ・施工パッケージ型積算が2022年4月適用版で全面変更。(標準単価と係数)
- ⑦ ICT活用工事
 - ・床堀工（ICT）、機械土工（河床等掘削）（ICT）の追加

以上の項目について、施工単価と作業能力計算の修正・削除、新規に施工単価と作業能力計算の必要なものについては、新規登録作成しました。

3. 入力についてのご注意

I. 率対象外コードについて

基本単価の内、下記コードにつきまして、諸雑費の率対象外コードを設けております。通常コード以外で入力が必要となりますのでご注意ください。

XR-01-01・・・率対象外機械損料

XS-01-01・・・率対象外労務費

XT-01-01・・・率対象外資材

以 上